



将来像

**国立大学法人 静岡国立大学機構(仮称)**

- ◇ 経営資源の集約化と効率的運用
- ◇ 地域ごとでの大学の独立的運営
- ◇ 一法人二大学総力の分野横断的な取組・異分野間の連携強化
- 上記改革と一体となった地域連携・産学官連携・国際連携の強化

**静岡でつながり、世界に向かう！**

**① 地域貢献力の強化**

ターゲットしずおか→静岡全体の発展に寄与

- 地方自治体との強力なネットワーク → 「地域プラットフォーム」の構築
- 「未来社会デザイン教育研究推進機構」の設立 → 地域課題をSDGsの視点から解決
- 大学のオープンイノベーション機能を強化 → 地域のニーズと大学の知見(シーズ)をマッチング
- 「大学発地域カンパニー」モデルをデザイン → 県内好循環

**② 尖端的教育研究拠点の形成**

ターゲットアジア→地域社会とアジアをつなぐ

- 「未来社会デザイン教育研究推進機構」を中核とするSDGs達成を目指す分野横断的な取組・異分野間連携の推進 → 東南アジア・南アジアのSDGs達成支援
- 静岡県内他大学との連携体制の強化 → 大学等連携推進法人制度の活用
- アジアの大学とネットワークを形成 → 東南アジア・南アジアを中心とする留学生受入れプログラム(アジアブリッジ・プログラム)の拡大・充実

**③ 経営力の強化**

ターゲット成長→経営資源の重点再配分

- 経営改革推進と理事長等補佐体制の検討
- 地域貢献力強化の成果としての外部資金の獲得増大
- 業務執行の効率化による経営資源の獲得
- 新たな領域の成長への再投資
- IR情報と財務情報を結び付けた経営情報の整備

**浜松地区大学**

Society5.0実現を目指す教育研究の中心  
 強み: 医学・工学・情報学という本邦初の構成を生かして産業界への貢献  
 ◆ 異分野間の連携強化・機動性向上を活かし、地域イノベーションエコシステム推進等により産業界からの外部資金獲得を増大

関係

**静岡地区大学**

SDGs達成を目指す教育研究の中心  
 強み: 文理融合による持続可能な社会システム構築への貢献  
 ◆ 「未来社会デザイン教育研究推進機構」を設立し、SDGs達成への総合的な取組により、外部資金獲得を増大



## 静岡でつながり、世界に向かう！

将来構想を実現するために3つの柱(地域貢献力、教育研究力、経営力)で取組を実施

	地域貢献力 ターゲットしずおか→静岡全体の発展に寄与	教育研究力 ターゲットアジア→地域社会とアジアをつなぐ	経営力 ターゲット成長→経営資源の重点再配分
経営改革 構想のKPI	①外部有識者講演会等の実施(外部有識者講演会等実施回数) R1:2回、R2:4回、R3:4回  ②意識動向アンケート調査の実施 R1:2回、R2:4回、R3:4回	①論文数に占める国際共著論文比率 R1:30.7%、R2:31.4%、R3:32.1% ②全学生数に対する留学生比率 R1:4.2%、R2:4.5%、R3:4.7% ③留学生の県内企業への就職率 R1:26%、R2:29%、R3:32%	①大学全体の人事マネジメントによる常勤人件費の削減額 R1:58,000千円、R2:59,000千円、R3:77,000千円 ②若手教員比率 R1:14.2%、R2:14.5%、R3:15.1% ③管理職の女性比率 R1:10.8%、R2:11.9%、R3:13.0%以上 ④運営費交付金依存率 R1:53.49%、R2:52.49%、R3:51.49%

### 〔補助金を活用した取組〕

取組	①県東部における拠点整備(サテライトキャンパスの整備)	②産学官連携の強化	③多様な教育方法の実現のためのICT環境等の整備充実	④業務執行及びその体制の効率化
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>自治体と企業等と強力に連携しSDGs達成にむけた「未来社会デザイン教育研究推進機構」を設置</li> <li>財源を多様化するため「大学発地域カンパニー」など持続可能なモデルを構築</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域企業と共用機器の充実を図り、イノベーションを促進</li> <li>アントレプレナーシップを持った研究者の養成</li> <li>大学発ベンチャー促進のためのプラットフォーム構築支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>両大学の豊富な学問領域(多彩なプログラム)を効果的・効率的に受講できるようにICT活用</li> <li>医学工学情報学の研究推進のためのVR・AR開発</li> <li>これらを活用した訓練施設を整備し人材を育成</li> <li>両大学の強みを融合させ文理融合を図り唯一無二の研究を促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務執行効率化のため各種施策の実施</li> <li>各地区を結ぶテレビ会議室システムなどのインフラ整備(財務会計・人事給与・学務など各システム)</li> </ul>
KPI	①県東部の自治体との協議数 R1:8件、R2:12件、R3:20件  ②県東部の自治体・企業等との新たな共同研究・受託研究のシーズ把握数 R1:4件、R2:6件、R3:10件  ③県東部の自治体・企業等との新たな共同研究・受託研究数 R1:-、R2:-、R3:2件	①企業等との情報交換数 R1:3,100件、R2:3,200件、R3:3,300件 ②外部資金受入額 R1:4,491,000千円 R2:4,565,000千円 R3:4,641,000千円 ③共同研究件数 R1:353件、R2:373件、R3:394件 ④中小企業等との共同プロジェクト総数 R1:3件、R2:5件、R3:7件 ⑤地域中小企業等への社会実装総数 R1:2件、R2:4件、R3:6件 ⑥地域内の大学発ベンチャー起業総数 R1:2件、R2:5件、R3:7件	①学部・大学院・社会人教育段階のオンライン教材の導入科目数 R1:56科目、R2:67科目、R3:107科目	①働き方改革に対応する時間外労働勤務費抑制額 R1:5,000千円 R2:10,000千円 R3:10,000千円  ②RPA(Robotic Process Automation)実施業務数 R1:-、R2:1件、R3:2件

# 地域の知と人材の集積拠点としての静岡県の国立大学将来構想 III. 全体スケジュール及び取組課題の具体施策

